

いた。岩手県の祝い歌「気仙坂」の変化した歌が、南下して原釜に流布したものである。

力強いなかにも新鮮な魅力を秘めたすぐれた民謡である。

### ウ 音楽的特徴

- ㊦ 拍節的なリズムによる民謡である。
- ㊧ 基本のリズムは ♩ ♪ ♫ で、変化して ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ からできている。
- ㊨ この歌は、陰音階（都節音階）と律音階からできている。



- ㊩ 転調 陰→律→陰



- ㊪ 曲の構成 A (a, b) - B (c, d)

### エ 目標

- ㊫ 日本の音階を理解させるとともに、曲趣を生かして力強く勇壮に、大漁の喜びを表現させる。
- ㊬ 郷土の民謡のよさを認識させ、郷土の音楽に興味や関心をもたせる。

### オ 指導計画

- ㊭ 陰音階の理解と曲趣を生かした歌唱表現 ……第1時
- ㊮ 郷土の民謡を調べ、その特徴の理解と表現 ……第2時

### カ 本時のねらい

陰音階でできている曲になれさせ、その音組織を理解するとともに、大漁の喜びを生かした力強く勇壮な歌唱表現をさせる。

### キ 具体目標

- ㊯ 聴唱・視唱活動を通して、全曲を歌うことができる。
- ㊰ 陰音階の音組織の特徴がわかる。
- ㊱ 大漁の喜びを生かして、力強く勇壮に表現できる。

## 7 指導場面

指導内容	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>○全曲鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地元の人の歌ったものを使用する。</li> <li>○曲全体の感じをつかませる。</li> <li>○どんな感じの曲か話し合わせる。</li> </ul>
<p>[聴唱による指導]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フレーズ(A-a, b, B-c, a')</li> <li>○ごとの聴唱練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聴唱用録音テープは、フレーズごとに編集録音し、反復聴唱し、曲をおぼえさせる。</li> <li>○楽譜と対比しながら聴唱させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○陰音階の上行・下行の視唱練習</li> </ul> <p>( )は律</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民謡の旋律進行は、順次進行が多く、音階唱を徹底することによって効果的に旋律唱へ発展できる。</li> <li>○陰音階の特徴を感覚的にとらえさせる。</li> <li>○律音階や陽音階と比較させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材の階名唱練習</li> </ul> <p>転調 都節 → 律 (陰)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まず、曲の骨格をしっかりと歌えるようにする。</li> <li>○密接関係の調への転調(陰音階→律音階)</li> <li>○転調に注意し、音程が正確にとれるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現の工夫 (節回しや小節リズムの取り方)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民謡の特徴を知り表現に生かすようにする。</li> <li>○民謡独特の節回しや小節をつけて歌えるようにする。</li> <li>○録音テープを聴き表現の参考にする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲趣を生かした力強く勇壮な表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○この曲の生成の背景と歌詞・内容から、漁夫の生活、大漁の喜びを理解させ表現に生かす。</li> <li>○スライド(大漁船帰港風景など)</li> </ul>

### おわりに

これまでの日本の音楽教育が西洋音楽中心であっただけに、日本の音楽そのものについての教育的研究は浅く、指導の体系や方法が確立していない。それだけに、郷土の音楽の教材化も、種々の問題点がある。本研究もその解決の一方策になるかどうか疑問であるが、参考にしていただければ幸いである。

### 参考文献

- 「日本伝統音楽の研究Ⅰ」 小泉文夫著音楽の友社
- 「福島県の民謡とわらべ歌」 懸田訓弘編著岩瀬書店
- 「日本の音」 小泉文夫著 青土社
- 「日本の民謡」 浅野建二著 岩波書店
- 「中学校指導書音楽編」 文部省 教育芸術社